

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第90回）に係る面談
2. 日時：令和3年4月7日（水）15時30分～18時15分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 金子審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、岩永企画調査官、林田管理官補佐

大辻室長補佐、久川係員、塩唐松係員

福島第一原子力規制事務所

小林所長（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

本社6名、福島第一原子力発電所9名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第90回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 福島第一原子力発電所における LCO 適正化の検討状況について
- 1号機 PCV 水位低下に向けた計画について
- 2号機シールドプラグ高濃度汚染への対応計画について
- 一時保管エリアにおける管理区域内漏えい事象に係る対応状況について
- 2月13日の地震によるタンクへの影響確認の進捗状況について
- 2月13日の地震後の設備への追加点検及び耐震評価の検討状況について
- 3号機原子炉注水停止試験前の MSIV 室内状況調査結果について

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【福島第一原子力発電所における LCO 適正化の検討状況について】

- 福島第一原子力発電所における LCO の定義について、公衆被ばく及び放射性物質の放り出リスクが許容される状態としているが、当該定義付けによる課題を示すこと。
- 事象進展を阻止するために必要な時間猶予についても考慮した上で検討状況を示すこと。
- 循環注水冷却系の停止など、複数の項目に係るリスクについても考え方を示すこと。

【1号機 PCV 水位低下に向けた計画について】

- 取水を行う既設配管を選定するに当たって、検討候補となった配管の位置やその検討結果について整理して示すこと。
- 1号機トラス室の空間線量率を示すこと。
- 【2号機シールドプラグ高濃度汚染への対応計画について】
- 排気ダクトの内部構造について説明を追加すること。
- 今回の調査に用いた測定器の情報を追加すること。
- 【一時保管エリアにおける管理区域内漏えい事象に係る対応状況について】
- 汚染拡大防止の措置を可能な限り早急に行うこと。
- 降雨量と物揚場排水路中放射能濃度については、可能な限り最新の情報を反映すること。
- 物揚場排水路の港湾内における放射能濃度についても示すこと。
- 長期保守管理計画において、一時保管エリアのコンテナの保全方式を「事後保全（BDM）」と設定していた根拠について示すこと。
- 一時保管エリアにおけるコンテナ管理状況の一覧表について、ノッチタンクによる保管を行っているエリアについてはその旨を追記すること。
- 仮設集積場所における管理状況についても説明を追加すること。
- 一時保管エリア W に保管していたコンテナについて、目視確認でコンテナ外表面に貫通部・漏えい形跡が見られないコンテナについては、線量測定や内容物確認等の追加調査を行わないこととしている考え方の妥当性を説明すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 1Fにおける LCO 適正化の検討状況について（案）
- 1号機 PCV 水位低下計画について（案）
- 2号機シールドプラグ高濃度汚染への対応計画について（案）
- 物揚場排水路 事故事象報告について（案）
- 地震によるタンクへの影響確認進捗状況（案）
- 福島第一原子力発電所 地震後における設備への追加点検及び耐震評価の検討状況（案）
- 3号機 原子炉注水停止試験前の MSIV 室内状況調査結果について（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2021年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表
- 特定原子力施設監視・評価検討会における『過去のコメント対応状況』の対応について（案）